

古賀市議会議員 子どもたちの夢がかなうまち

〒811-3114
古賀市舞の里2-15-21
TEL/FAX 092-944-3773

森 まき

2024年4月 vol.04

NEWS

森まき
Facebook

3月 (2/21~3/22) 議会 議案と一般質問

24年度予算 総額441億円

一般会計は267億円

2024年度古賀市予算は一般会計、国保会計などを合わせ総額441.5億円(内一般会計267.5億)。

コロナ禍の収束も見られる中で前年度比17.5億円(4.1%)増加しました。



定額減税で市税歳入減少

一般会計歳入は、2年近く続く勤労者の実質賃金の低下に、国が定額減税をするため市民税の歳入が減少、減少分2億4千万円余りを地方特例交付金で補填する他、物価高騰対策に5億9千万円余りを増額するなど、国の経済政策の結果が市の予算にも表れています。将来市民にその清算が求められるのではないかと危惧されます。

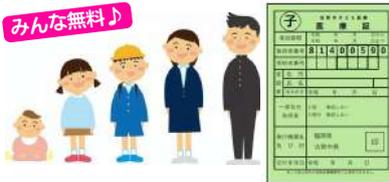


主な歳出予算

子ども医療費を18歳まで無償化

2024年4月から18歳までの子ども医療費の無償化を拡大し、医療機関の受診にかかる経済的負担を軽減、医療受診の機会を確保すること

で治療を促進し、保健の向上と福祉の増進を図ります。



子ども食堂に補助

これまで求めてきた「子ども食堂支援事業」が新たに予算化されました。

市内の子どもたちに無料または実費相当で食事を提供し、子どもと地域住民が定期的に交流できる場を提供・開設・運営する団体等に運営に必要な経費の一部(事業開始及び拡充に要する経費・事業継続に要する経費)を支援します。



少人数学級の深化を

本年度も原則35人以下学級学びの環境の確保に取り組む一方で、インクルーシブ教育を推進するとされています。不登校や特別支援学級を選択する生徒も増え、互いを認め合いながら一緒に学ぶ学校教育となるよう求めました。

また、学校給食センター食器洗浄機の更新に伴いPEN樹脂食器へ変更が検討されています。これまでの経緯も踏まえ「何より安全で安心な給食」になるよう求めました。



コガバスに新路線

公共交通の維持確保に路線バス運行補助を前年度に比べ1,558万円余り増額した他、コガバスは小竹地区から新宮地区への新路線開設に取り組み、「のるーと」はミーティングポイント増設など利用向上対策を行います。



介護保険料を改定

介護保険料に関する国の標準が見直されたことから、保険料の割合などを国の標準に合わせて改定しました。

《主な改正点》

- ・ 公費を負担し保険料軽減割合を変更
- ・ 基準額の第5段階の介護保険料を月額5,300円(年額63,600円)に改定(旧介護保険料:月額5,100円、年額61,200円)
- ・ 適用年度を令和6年から令和8年までに変更

介護保険料の割合

	2021~23年	2024~26年
第1段階	0.300	0.285
第2段階	0.450	0.485
第3段階	0.700	0.685
第4段階	0.850	0.900
第5段階	1.000	1.000
第6段階	1.100	1.200
第7段階	1.250	1.300
第8段階	1.500	1.500
第9段階	1.750	1.700
第10段階	1.850	1.900
第11段階	1.950	2.100
第12段階	2.050	2.300
第13段階	—	2.400

保険料計算例 第4段階
5300円×0.900=4770円

高齢化は保険料の引き上げにも繋がり、公費投入で引き上げを圧縮しましたが、若い世代が将来要介護にならない健康づくり、健康管理の支援、事業の理解促進も重要な事業とするよう求めました。施行は令和6年4月1日から。

子育て支援課 子ども家庭センターに

令和5年4月の子ども基本法施行に伴い、担当課名を変更すると共に新たに所掌する事務を追加する条例改正をしました。

《主な改正点》

- ・ 市子ども計画の策定、変更についての調査審議
- ・ 子ども子育て支援などについての調査審議
- ・ 課の名称を子育て支援課から子ども家庭センターに変更

子どもの権利条約 4つの一般原則

1 生きる権利

2 育つ権利



3 守られる権利

4 参加する権利



こども基本法は、子どもが守られる対象であるだけでなく、権利をもつ主体であること、成長の過程にあって保護や配慮が必要な子どもならではの権利も定めています。国連総会において採択された子どもの権利条約に基づくものです。「こども計画」策定においてはこれを基本にするよう求めました。

補正予算

小野小学校トイレ改修など

小野小学校のトイレを洋式化、体育館にみんなのトイレを増設、床の乾式化、バリアフリー化に1億1,600万円余りを補正、2024年度に繰越して実施、完成は2025年2月の予定です。

この他道路改良工事、ため池耐震豪雨性能評価など総額2億6,500万円余りを補正しました。



森 まきの一般質問

今回は、子どもの権利を重視し子どもたちを守る制度として設置される「子ども家庭センター」と子どもの人権について。学校給食用食器変更について。「困難な問題を抱える女性支援法」の施行と関連する条例策定について質問しました。

森 子ども基本法が施行され、古賀市も子ども家庭センターを設置、子ども計画も今年度以降に諮問される、決意をお聞かせ下さい。

市長 子どもが権利の主体である事を子ども子育て政策、教育分野の取り組みに繋いでいる。法の理念に沿い取り組む。

森 古賀市子ども子育て支援条例には「子どもの人権・権利」が示されていない、加えるべきではないか。

市長 記載されていないがその精神に基づき運営する。

森 給食食器の変更の理由を重さや破損とされている、そのような問題は他の方法でも対応できる。現在の強化磁器食器は安全性が高く毒性はないとされているのに対し、PEN樹脂は環境ホルモンが確認されていないだけのものとのこと。給食委員会では保護者説明を抜きに賛否を問われ、保護者アンケートも実施するとのこと、安全や安心への説明や対応が不十分だ。

給食センター長 説明はできていないが、先生や運営委員に意見を聞いた、周知に努力する。

森 安全で安心な給食提供を第一に考えるべき、慎重な対応を求める。

森 「困難な問題を抱える女性支援法」が施行される。どのように理解しているか。

市長 困難な状況にある女性の経済的困窮や働きにくい状況を改善し生きやすさに繋ぎたい。

森 「困難な問題を抱える女性を支援する条例」の策定を表明してはどうか。

市長 男女共同参画計画の中間見直しを前倒しで取り組む。



安全で安心な給食を
これからも



大切に使うことも
子育てでは

JR古賀駅周辺開発調査特別委員会 報告

特別委員会は2023年6月から2024年3月まで行った調査・研究の最終報告をしました。委員会を通し判明した概要は、

- ・東口エリアの北側は、マンションを想定。規模は285戸900人程度の居住を見込む。南側は、商業、病院などを考えており、商業地域の規模は約3,000㎡程度を想定。
 - ・公園は中央にイベントなどのエリア、リーパスプラザと連結する部分は子育て世代から高齢者が集えるエリア、南北をつなぐエリアにカフェなどを検討。
 - ・東口の駐車場について、市営による新設は考えていないが、総合的に検討を進める。
- などで、今後も市民の意見に十分配慮しつつ、議会、地権者及び関係者と情報共有を図りながら開発を進めるよう求めました。



JR千鳥駅東口整備 2025年3月完成予定

長年通勤時や雨天時などに混雑し整備の要望が多かったJR千鳥駅周辺の整備はアクセス機能強化や利用者の利便性向上に配慮し進められています。令和7年3月完成予定で、バス停は駅前広場になる予定です。



議会を終えて

3月議会は元日の能登地方地震、東日本大震災から13年目の議会となりました。犠牲になられた方、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。

皆様に支えていただき4度目、今年度最後の議会でした。一般会計は過去最高の予算となり、介護保険条例一部改定や子ども家庭センターの新設など子どもから高齢者に関する議案、今年度の市政方針などが提案され、しっかりと発言させていただきました。

みなさまの声をぜひ
『歩くご意見箱 森まき』
へお聞かせください。



森まき
Facebook

HUGっこ

子ども食堂「たまりんば」

「たまりんば」公式アカウント
食材の提供、ご支援はこちらまで↓



職場での困りごと悩みごと
など1人で悩まずここへ相談
まずはお電話で。
ふくほくユニオン
☎092-719-1980
(相談無料)